

山本順三様

茨城県 岸本生

拝啓

初めてお便りさせて戴きます。私は茨城県〇〇市に在住する岸本と申します。山本先生のご著書を拝読し、是非CFを使用し基本性能を完備した人生最後の終の住家建築を目指している物です。

お便り申し上げた趣旨はズバリ先生のZ工法で御社の施工をお願いするものです。「遠方と云えども断ったことナシ」との著書中のお言葉に依拠してのお願いであります。私は美文調の文書を苦手としておりますので以下箇条書きにて失礼させていただきます。

1：ご著書の読暦

- ① 最新版「この本を読んでから建てよう」 2004.6.23 購入
この本との出会いは図書館からの借り入れ 再読・三読の上購入に至る
- ② 「住宅の結露・断熱・防音を克服する本」 2004.12.23 購入
この本を求めた動機は時系列面ではギャク遡上するが、より学術的または具体論かと考えた為です。発刊所が判らずブックエース結城店にお世話になり奇しくも先生自らご送本くださった由感激した次第です。
- ③ 「無暖房・無冷房の家に住む」 2006.6.23 購入 現在購読中
他の読者諸氏同様数十回は読み90%完全に理解しているつもりです。

2：他の関連図書

- ① 木造工法入門、コンクリート読本など初級専門書類
- ② 建築知識、室内など雑誌
- ③ その他単行本など、中には久保田某女の「さらに『いい家』をもとめて」など駄作入手失敗もあり。

3：所謂 地元密着工務店歴訪紀

改築を決意して約2年、数社の現場構造会に参加約50棟を見てきました。中堅ビルダー、地元工務店共に口を揃えて大手メーカーの欺瞞を責めますが、現実には大手メーカーのデザイン盗用、価格構成の不明瞭さには目に余るものがあります。

その上直接施工、中摩排除を唱えながら、建てるのは雇われ大工で日替わり、同じ会社の家でも素人目に出来、不出来がはっきり解る始末。致命的なのは技術説明を求めるとほとんどまともな答が出来ない。それにしてもこの2年間の木造住宅の変化には驚くべきものがありました。

4：私が木造住宅に抱いた疑念

私達夫婦は二人共に兵庫県出身です。95年の大震災では両親、兄弟、姉妹

の家6棟中5棟が崩壊、1名が重傷。電車が動いて直ちに駆けつけこの目でしかと確認しました。4寸の通し柱が申し合わせたごとく、2F仕口部で折れ潰れていました。決して安普請ばかりではありません。

耐震性能は基本性能以前の根幹性能です。

この点で関東の工務店諸氏は地震に対して不遜です。4寸と3寸5分で大丈夫の一点張り まともに応えようとしません。

更に外壁外側が紙一枚(タイペック)でいいのかどうかしても納得がいきません。もう一つ決定的なのはCFを知らず採用する社が無かった点も私の意思決定を送れた要因です。

5：意思決定の過程

① 環境変化…上記した観点から紆余曲折の上、本年3月某大手メーカーの2×6、2F建てにほぼ決定したものの、曰く、言い難い大手特有体質への不信感がありモヤモヤとしていたところ、4月大阪在住の父が倒れ、獅子麻痺の状態に必死にリハビリに臨む姿を見、頑張っている父それを支える母に少しでも多くの資金援助を行う必要もあり。急遽規模縮小を図ると共に明日の我が身を念頭に平屋建て計画に変更

② 理想のパートナーとの邂逅

上述の50棟見学の中で只一棟、基礎打ち段階からずっとウォッチし続けた家がありました。筋交いのプラス外側に耐力面材を打ちつけタイペックを張った家でした。

完成見学会で2日間通い大工さん、建築資産を質問攻めにし、大工氏は若い方でしたが、CFは知らぬものの誠意に満ち真直ぐの人柄と見受けました。

これが昨年4月のこと、以来つかず離れずで、保ってきました。

③ 私の考え方

私は仕事歴がそうさせるのですが、明確な意思決定をする迄は、口約束や二又三又かけた仕事が出来ない性格で、先生のご本に接して2年を経ても一切ご連絡いたしませんでした(ここのところは是非了として頂きたく存じます)

④ パートナーのご紹介

・大工氏 豊崎氏

設計氏 富田氏

私は我家建築にあたり 施主、大工・職方、設計の三者が意思統一し協働出来る環境を追い求めてきました。

豊崎氏は岸本さん是非一緒にCFをやりたいと云い、富田氏は既に別の案件で先生が吹込み、乾式工法第1号を指導したマツナガMSI工法を現地見

学した模様です（なんとOMソーラーCFの珍奇な組み合わせだそうです）

注）ここまで書いたところへ豊崎氏から一報あり既に先生とコンタクトできた由。全く行動力のある前向きの人です。

彼は今私の②の本を一生懸命読んでいるところです。

6：CF工法への若干の質問及び思想違反についての質問

現時点の基本プラン…木造軸組み平屋建て 基本材オール4寸（120ミリ）
剛床、1F上部にロフト収納室、地盤ソイルセメントコラム工法で強化
基礎無開口ベタ基礎、基礎立ち上げ部高さ400プラス基礎パッキン25計
425 etc です。私が提出した間取りプランは添付図参照ください。

① 床構造 1F及び2F床（ロフト床）、剛床構造を採り、大引・根太は相欠き嵌込み

下張りは構造用合板24～28 仕上げ自然材フローリングとする、耐震性を求める必要無いです。

Z標準のコロバシ根太プラス大引ではありませんので通常の大引き90では吹込み圧不足です。大工氏はセイのある大引きを使ってもいいと云っていますが如何致しましょうか、ご教示願います。

② 内装壁、和室はPB上に中霧島塗装 PC12.5ミリ、チリ20としても約80程度ありOKと考えます。

洋室は最後までビニールクロスで何とかならないかと考えていましたが、只の断熱材に成り下がったのでは駄目、下張りにルナファーマー 仕上げ塗装を？

何とかコストセービングでビニールクロスに近いものはないでしょうか、ご教示願います。

③ 外装 壁外面はダイライト面打ちプラスタイペック

外装材は残念ながらメンテナンスノーのサイディング。故に通電を設ける。

④ 壁体内耐震、制震装置として通常筋交いプラスGVA工法を採用する。TIP工法における浮き筋交いと同様の働きをすと考えます。

敷地が劣悪な路盤の4m市道に面しており不愉快な中微震にも対応するためです。CF吹込み上の可否をご教示願います。

⑤ エアコン装置について

- ・私達の体感温度として22℃以下は寒く、28℃を超えると暑いと感じます
- ・更に父の帰還は全く見通しが立ちませんが、母は必ず引取り最後まで面倒を見ます

故に恰もワンフロアの如き間取りを取り得ず、プライベートゾーンを確保す

る為の部屋割りとします。

上記の点から補助エンジンとしてエアコンを具備しておきたいと考えています。夢、Z工法性能を疑っているのではありません。云わば確信犯としての違反準備です。

そこで元エアコン屋でもある先生にお伺いします。一般性能機で間欠運転するか、最小限能力機で間欠運転するかどちらが経済合理的でしょうか、大変失礼な質問ですがご教示願います。

⑥ 24H強制換気について

これはどう勉強しても解りません、賛成できません、納得できません悪法です。そこで先生の山本式通気孔とトイレ・浴室・台所の使用時排換気の組み合わせで建築確認申請をクリアできないものでしょうか、ご教示願います

尚山本式ベンテレーターについて解り易い資料があれば（外観、構造、取り付け etc）ご教示いただきたくお願い致します。

⑦ 床下吹込みについて

最新版では二重吹き込みシートとなっておりますが、これだけの重量物の落下防止のメカニズムはどうなっているのでしょうか、ご教示ください。

（マツナガMSはシナベニヤを受け材にしているようにみえるのですが）

7：終わりに

思わぬ長文となってしまい失礼いたしました。

他の読者諸氏と同様にご著書を読み、思わずヒザをタタキ、ニヤリとし、フンガイし、感動を覚え 山本節に淫したこと申し添えておきます。

* 社長以下社員全員で先生を迎えた蔵持工務店（現名ハウジング）のつくば店を訪ねましたところ、エアムーブ住宅と現場発泡化学断熱材を勧められました。しかし木材は県産自然材を強調され、何をか況やです。

現在の家はセキスイハイム築29年にして、自ら引導を渡すことになりました。以上縷々申し述べて来ましたが、私共にとって最後の家に度と失敗は出来ません。

予算面でも厳しい状況にありますが、何としても基幹性能（耐震性など）並びに基本性能（CF）は絶対に確保する所存です。 敬具

追伸 「新屋で、アト25年以上生き抜き、倫理感なく、節操を失った、このヘナヘナの、しかし、愛する日本。日本民族がどうなるか見届けたいと考えております」

断熱屋も感激

世の中には恐ろしい人がたくさんいますが、この長文を頭で描きなたら、読み終えたときは、タフだけが売り物の断熱屋も疲れしました。参りました。

世の工務店諸氏の教育に「この方を講師として迎えたら・・・」と思うと同時に、今から住まいを作ろうとする方に、これほどの勉強をしてくれ・・・とはいわないが、せめて3分の1歩くらいは努力して欲しいものと願うばかりです。

それにしてもよく見ておられる。中堅ビルダー、地元工務店はここまで言われて、一言半句も反撃の余地が無い。「差別化する」などといいながら、最初から死材である「サイディング」を用いて、町並み、家並みを壊し、開発地をゴーストタウンのようにしてしまい。隣は無いものとして、差別化するため一戸一戸の色が違い、形が違い、気がついたらセキスイやミサワ擬になっている。

遠いところまで行って見てきたらドーダ!!とは云わないが、図書館に行って西欧の家並み写真を見なさい。赤い屋根、白い壁、青い空、どこまで行っても同じ町並み、家並み、キレイとは思わないのだろうか。

戦争に敗れた日本は貧しかった。でも、戦前から昭和20年代終わりくらいまでは、この日本も美しかった。世界でもっとも美しい国であったと思っている。

断熱屋は、新幹線で東西奔走しているが、街並みを見るたび嘆いている。

なぜ、誰が、いつから、このようなデタラメな街を作り出したのか。

なぜ、住まいの外観は地域のものであって、個々の施主のものではない、という西欧式の考えが出来ないのだろうか。

この方は、あまりにも多くのことを示唆されていますので、全部を解説すると、本が一冊になりますので、一部だけを抜粋して、これから住まいを作る皆さんの指標になれば幸いです。

断熱屋 山本順三

平成18年 5月22日

(有) ゼットテクニカ
山本 順三 様

山形県在住 高 梨 三 郎

山本先生久しぶりです。お元気でお活躍のことと存じます。

昨年11月17日に念願の家が完成し、引っ越してから早くも半年が経過しました。住み心地は97%満足です。差し引きの3%はおまけみたいなもので、素直な感想は100%満足です。

初めての「セルローズファイバー」での施工と言うことで、少しの不安がありました。というのは、我が家の電気工事を担当した甥っ子は、「絶対に教科書どおりにはいくわけがない。万が一のことを考えて配線だけはしておくから」と全部で4機の蓄熱暖房機の配線とエアコンを設置していきましました。

今年の冬は、気象庁始まって以来の豪雪ともものすごい寒波でした。実は引っ越しの翌日にはもう初雪がドカッと降りました。いくら「山本先生を信頼すると言っても」と少しの不安はありました。

ところがドッコイ、電気工事店の不安も私の少しの不安も見事に解消されました。全然寒くないというか、当初は寧ろ暑くて、寝苦しくて蓄熱暖房機のセットを日中と夜中に放熱をストップさせたり、寝具を毛布と肌がけだけにしたりと 反対の工夫を重ねやっとゆっくり休むことができるようになったのでした。こんな寒い地方に住んで「暑くて眠れない」などという悩みを持たなければならないなんてことは全くの想像外でした。

室温は23度に設定しておきましたので、朝起きたときには快適な状態になっています。

更に良いことは、高速道路と電車の新幹線の間位置していながら、騒音が全然聞こえてこないということです。ですから、こちらに引っ越してからはテレビよりも スピーカーからの音楽を聴いている時間の方が長くなっています。(自分でもびっくりですが音楽なんてあまり興味もなかったものが今ではモーツァルトまで聴くようになっていま)

湿度は、ほぼ40%です。少し足りない感じですが、洗濯物の乾燥は抜群です。朝に洗濯し部屋の中に干しておけば午前中で全部乾いてしまいます。忘れていました。山本先生に紹介していただいた「中霧島壁」の効果も抜群です。トイレも含め換気扇はほとんどスイッチを入れたことがありません。たまにタバコを吸う方がおいでになっても臭いはほとんど残りません。

さて、そんな快適な生活をしながら問題の電力料金ですが、厳寒期で2万3千円でした。オール電化ですから、水道料金以外の全部を込めた金額です。厳寒期が過ぎて、3月は1万8千円で、先月は1万3千円でした。

ちなみに、同時ぐらいに着工し完成した向かい側の二軒の家（ミサワホームと積水ハウス）は、特に、積水ハウスは同じ容量の蓄熱暖房機を設置していますが、一部屋しか温まらず、他の部屋には別な暖房器を設置しなければならないとかいって、「最初の契約の条件と全然違っていた」とぼやいています。ミサワホームは、「一カ月の石油代が3万円掛かる」と言っていました。こちらも契約時の「暖かい家」というのは「何だったんだ」とぼやいています。

外壁の「ソトン壁」も良いですネ。落ち着いた感じで、「昔からこの家があった」という雰囲気です。

今回人生で二回目の家を建てましたが、山本先生のお陰で本当に満足する家を得ることが出来て、心から感謝しています。家に来る人来る人に「セルローズファイバー」の良さを宣伝しています。今までで二人の方が「この工法で建てたい」と言っていましたから山本先生の連絡先を教えています。もしかして連絡があるかもしれませんのでその際にはよろしく願いいたします。

ところで、家を建てるには「哲学が必要だ」ということが今回も良く解りました。今の時代ですから「・・・工法」とかいうパンフレットの宣伝につられてか「工務店さんお任せ」で家を建てる方も多いようですが、家を建てるということは、最高の楽しみです。3年間は十分に楽しむことができます。家を建てる土地の選定・間取り・建材の自分の生活設計に合わせた選択をしなければなりません。もちろん予算との関係もありますから全部が全部納得できる条件を満たすことは無理にしても、自分で情報を収集し、選択して工務店さんに依頼することがとても楽しいことでした。最初は、セルローズファイバーしか眼中になかったのですが、快適さを最優先に考えていくうちにいろんなところまで興味が湧いてしまいました。

「家の建設」は人生でも最高の楽しみです。

今は、昨年秋に地植えしておいた石楠花が次々に花を咲かせて楽しませてくれますし、庭先の畑も徐々に整備し、トマト・ナス・キュウリ・アスパラ・トウモロコシ等など充実してきています。

山本先生が当地の近くにおいでの際にはぜひ我が家にお立ち寄りください。

「我が家の自慢話」を肴におくつろぎいただければと女房共々楽しみにしております。

遅くなりましたが、我が家で生活をしての報告をさせていただきます。乱文で失礼します。御社の益々のご発展を祈念いたしております。

あちこちで勉強会・講演会があり、断熱屋は一応のことを話するのだが、中にはスネた人もいまして、断熱屋の顔を見て「ホンマかいな…？」という顔つきで、疑いの眼で薄ら笑いを浮かべている、不埒な受講生がいる。

ならば、このような証拠の文面を突き付けて、「ホラー、俺がウソをつくような顔をしているか。アア…」今後そのような方針でいきますぞ。

この方は、地元高校の先生をやっておられました、定年リタイヤをなさいまして、ご夫婦で石楠花や野菜作りをしているという、全国を駆けずり回っている断熱屋から見ると羨ましい限りの生活をなさっています。

足がけ3年ほどの時間、文面のやり取りを致しましたので、昨夏にはじめてお会いしたときには「はじめてとは思えませんネ…」

文面にもあるように、甥御さんが電気屋さんで、

30坪余りの住まいに、ガス蓄熱暖房機が大中5台、エアコンまでつけてある設計図を握り潰して「暖房機は中型を1台、家の真中の部屋につけて後は認めない。もし設置するなら施工にこないかも…」

当然、甥御さんはおもしろくなかったに違いない。そのような顔つきであった。構わずに「エアコンなんて、とんでもない埒外ですよ」

暖房機4台、エアコン2台、合せて60～70万円売り損ねた気持ちは分かる。でも不用のものを設置しても仕方がないでしょう。

温度 見ましたか「暑くて眠れない」 無暖房の私のところも3月には何度か寝苦しいことがあり、冬はタオルケットと夏の薄掛けだけで過ごしている寝具の調整をしている。

ハウスメーカーという「獣宅」とは燃費において、これくらいの違いがあって当然。その差額を貯金したら100年後には家はタダで建つ。

湿度 結露とは何か知らない連中は「外張り断熱」という、粗大ゴミを本物と思いこんでいるが、今冬のように乾燥すると20パーセントの湿度も得られないので、1日に3度も水を足す加湿器を手放せない、それでも30パーセントにも満たないが一杯だ。

音 完全な防音とは何か、断熱屋が解説することもない。

防臭 これもエチケットであって、ビニールクロスではダメなのだ。

ゆえに向後、断熱屋の言うことを夢、疑ってはなりませんぞ。

2008年9月1日 安藤

昨日はお忙しい中お時間を割いていただき、感謝しております。

半年にわたる土地探しと、その後の半年弱の建築プランニングを通して実感したのは、建築業界は「玉石混交」であるということでした。まるで砂金取りのように砂をすくっては、「また砂か…これも砂か…金はいつ見つかるのか…」の繰り返しだったように思います。しかし、体験館は他のいかなる工法による建築物よりも快適であり、構造のシンプルさが抜きん出ていました。人工的に作られた機械的な快適さはいくつも見てきましたが、それらとZ工法は、構造が単純であること、機械に頼らないこと、ケミカル素材を排除している点において別次元のものでした。妻も同様、居心地のよさに感心しておりました。

消費者からは、まがい物はいらぬという声をもっとあげなければいけないと思いました。逆に施工者からは、うちでは安全でないものは使えませんと言えだけの倫理観が必要ですね。それにしても、住宅産業はなぜこんなにグロテスクに怪物化してしまったのかと驚くばかりです。人はもっと自然に対して謙虚になり、人工素材が天然の素材を超えることは至難の業であることを自覚する必要があると感じています。

私が業界に疑問を持ったきっかけは、お話ししたように建築関係者の誰一人として水蒸気がどこから→どこへ→どの位移動するものなのか、まともに答えられないと言ううそ寒い現実を目の当たりにしたことから始まりました。生理的にビニール素材を部屋中に貼りこめることに耐えられないので、調湿素材を使用したいと言っても、「大丈夫ですから」。なにが大丈夫なんですかと聞くと「換気で入れ替えますから」とおっしゃる。私は転勤で札幌にも盛岡にも住んだことがあるのですが、冬ごとにひどい結露に悩まされました。寒いから締めてくれと家族に文句を言われても窓を開けつづけていましたが、窓を閉めたとたん結露は発生しました。なるべく水蒸気を発生させないようエアコンを使い、除湿器をかけ続けましたが冬を2回越すと、例外なくビニールクロス一面にカビが生え、ふすまはよれよれになりました。社宅ですから仕方ないと我慢しても、自宅では絶対に耐えられないことです。

換気しますって、気流をコントロールしようとも言うんでしょうか。気体を精密に制御するには、どれほどのパワーと計算が必要とお考えですかと聞いたかった。ビニールクロスを張り巡らせた住宅であっても機械換気をするなら、たぶん工場並みの設備が必要だろう。でもそんなものをつけたらランニングコストにどれだけ費用をかけなければならないのか、近所からは換気扇の家呼ばわりされるのではないかと暗澹たる気分でした。

私の憂鬱さとはウラハラな自信にあふれた表情の設計士を見て、「このひとはホントに大丈夫と思っているのか」「それともさっさと契約をまとめたくて言っていることなのか」疑心暗鬼でした。いちおうCFってモノも検討してくださいとお願いしたとき、この設計士さんは「あ、あれは新聞のくせしてエラく高いんですよ。それにコンセントの

隙間からぼろぼろこぼれてきますよ。」と言われ、そんなモンかなあとあきらめておりました。しかし、あきらめないで思い切って体験館に伺って良かった。あやうく、結露のことを何もご存じない設計士さんにダメされるどころでした。

山本代表はあらゆる誤解と中傷に悩まされて来られたのだと思います。でも口を閉ざすことなく、間違っていることは間違っていると正しいことを断固として主張してこられた。こういう業界にあってそれは大変なことだったと推察します。その苦勞があつてわれわれ一般消費者に正しい知識が届いたこと、ただ感謝するのみです。いずれ自宅の図面が出来上がると思いますが、CF施工でお世話になりたいと考えておりますので、その節はよろしくお願いいたします。

山本様

寒い日が続きますが、皆様お元気のことと推察申し上げます。

本日は、朝霞の体験館訪問一周年記念日です。長い人生の大いなる転機です。

昨年今日は雲が垂れ込め寒い日でしたが、体験館は暖かでした。

妻の体調が悪く、山本さんとは十分お話が出来ませんでした。帰宅してからかなりの日数をかけて夫婦で議論しました。

板材を無節にすることで押し切った覚えがあります。

あれから1年！です。この家に住んでいることが奇跡のようです。

妻はとうとう今冬はセーターを着ないで終わりそうです。ストッキングもなし、霜焼けもなし、肌の白い粉吹きもなし、あれほどの寒がり驚くべきことです。暖房、風呂、炊事合計が月1万円というのも驚くべきことです。

ここに住み始めた24年前の冬は寒くて寒くて毎月4万円のガス代を払いました。

小生は出先で背広の木々の香りがすると言われ、ひとしきり家の解説をするのに時間を要します。

これからも良い家を建ててもらい、お客さんを私たちのように幸せな思いにさせてもらいたいと思います。

皆様のご繁栄を心から祈念します。この家に住めてこれ以上の幸せはありません。

高橋 淑夫 平成22年2月19日

<Zの一言>高橋邸の一带は昭和の終わり頃に売り出された造成地であり、周囲の家は同じ年月を経ていることになる。個々の住まいに入ったことはないが、話を聞きますと、大体同じ獣宅作りである。

それにしても24年前のガス代は、現在より4割ほども安い頃であるから大変な金額になる。料理に使うガス代はそれほどの量ではないから、暖房費がいかに高かったかの証左である。

「山本さんは、どうしてそんなに働くの？」と先日も聞かれました。自分でも「いい加減にしないか」と自問することもあります。

だが、私ほどお客様から叱咤激励されご褒美を頂戴している職人は、日本広しといえども、それほど居るであろうか。ともかくうれしいのだ。身に余るほどの褒めの言葉に酔っているのかもしれないが。私も幸せなのである。

断熱屋 山本 順三